

第三セクターの経営情報について (サンアクアTOTO株式会社)

1 会社概要

(1) 設立趣旨

働く意志と能力がありながら、就労の機会に恵まれない障害のある方に働きやすい職場を提供するため設立された、第三セクター方式による重度障害者多数雇用企業

(2) 所在地

北九州市小倉南区舞ヶ丘一丁目2番1号(本社・工場)

北九州市小倉南区舞ヶ丘一丁目1番1号(制作部)

(3) 設立年月日

平成5年2月26日(平成6年7月操業開始)

(4) 出資者及び設立資本金

総額	6,000万円
北九州市	1,200万円(20%)
福岡県	1,200万円(20%)
TOTO	3,600万円(60%)

(5) 主な事業内容

- ①製造部門(組み立て、部品調達 等)
- ②制作部門(DTP、作図 等)
- ③その他(データ入力 等)

(6) 従業員数(平成31年3月31日現在)

143名

- うち障害者92名(重度障害者46名、中軽度46名)
 - ・身体障害者49名(重度障害者40名、中軽度9名)
(上下肢障害31名、内部疾患5名、聴覚10名、視覚3名)
 - ・知的障害者28名(重度障害者6名、中軽度22名)
 - ・精神障害者15名(中軽度15名)

(7) 障害のある従業員の主な業務

- ① TOTOのシャワーヘッドなどの水栓金具やトイレのフラッシュバルブなどの給排水器具などの組み立て
- ② パソコンを使った印刷物版下作成及び印刷
- ③ データ入力（全国のTOTOショールームのアンケート）等

2 部門別事業報告

(1) 製造部

量産製品・高利益率製品の生産獲得により、売上高は対前年度比11.3%増となり、大幅増益となった。

(2) 制作課

自製印刷、BIM(3Dデータ)の増加等により、売上高は対前年度比7.8%増となり、粗利益も大幅に増加となった。

(3) 事務サポート課

データ入力、スキヤニング等の業務拡大により、売上高は対前年度比27.5%増となった。生産性の向上等により粗利益も黒字化し大幅増益となった。

(単位：万円)

部門別	売上高		粗利益	
	29年度	30年度	29年度	30年度
製造部	174,370	194,151	10,801	13,751
制作課	18,202	19,620	1,056	2,898
事務サポート課	9,165	11,682	▲257	1,088
合計	201,738	225,453	11,600	17,737

3 決算（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

売上高は、22億5,453万円（前年度比2億3,715万円増）となり、営業利益は2,966万円（前年度比6,010万円増）、経常利益は9,338万円（前年度比6,456万円増）、当期純利益は5,880万円（前年度比4,133万円増）となった。

（単位：万円）

	29年度	30年度	
売上高 （対前年増減額）	201,738 (38,397)	225,453 (23,715)	
営業利益 （対前年増減額）	▲3,044 (2,534)	2,966 (6,010)	（売上高－営業費用）
経常利益 （対前年増減額）	2,882 (1,829)	9,338 (6,456)	（営業利益＋営業外収益 －営業外費用）
当期純利益 （対前年増減額）	1,747 (1,318)	5,880 (4,133)	（経常利益－法人税等）

※万円未満は四捨五入

平成30年度
事業報告書

サンアクアTOTO株式会社

事業報告書

1. 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

① 業績の概況

売上高は22億5,453万円(前年度比11.8%増)、営業利益は2,966万円、経常利益は9,338万円(前年度比3.2倍増)、当期純利益は5,880万円(前年度比3.4倍増)となりました。

部門別の状況は次のとおりであります。

(製造部)

量産製品・高利益率製品の生産獲得により売上高は対前年比11.3%増となり、大幅増益となりました。

(制作課)

自製印刷、BIM(3Dデータ)の増加等により、売上高は対前年比7.8%増となり、粗利益も大幅に増加となりました。

(事務サポート課)

データ入力、スキャニング等の業務拡大により売上高は対前年比27.5%増となりました。生産性の向上等により粗利益も黒字化し大幅増益となりました。

(単位:万円)

部門別	売上高		粗利益	
	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
製造部	174,370	194,151	10,801	13,751
制作課	18,202	19,620	1,056	2,898
事務サポート課	9,165	11,682	▲257	1,088
合計	201,738	225,453	11,600	17,737

② 設備投資の状況

当会計年度中において実施いたしました設備投資、修繕の総額は3,323万円で、その主な内訳は次のとおりです。

イ. 当会計年度中に完成した主要設備

- ・製品ピッキングHT照合システム 494万円
- ・中央監視設備 264万円
- ・サービスヤード ブロック塀補強 250万円
- ・非常用放送設備 176万円

ロ. 当会計年度中に実施した主な修繕

- ・屋根防水補修 1,196万円
- ・外壁シーリング 240万円
- ・変電所高圧機器変更 134万円

③資金調達の状況

当会計年度は特記事項ありません。

④事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

当会計年度は特記事項ありません。

⑤他の会社の事業の譲受けの状況

当会計年度は特記事項ありません。

⑥吸収合併または吸収分割による他法人等の事業に関する権利義務承継の状況

当会計年度は特記事項ありません。

⑦他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

当会計年度は特記事項ありません。

(2)直前3事業年度の財産および損益の状況

区 分	第25期 (平成28年度)	第26期 (平成29年度)	第27期 (平成30年度)
売 上 高 (千円)	1,633,409	2,017,382	2,254,530
当期純利益 (千円)	4,287	17,472	58,801
1株当たり当期純利益 (円)	3,572	14,560	49,001
総 資 産 (千円)	433,223	549,463	648,611
純 資 産 (千円)	104,509	121,981	180,782
1株当たり純資産額 (円)	87,091	101,650	150,652

(3)重要な親会社及び子会社の状況

①親会社との関係

当社の親会社はTOTO株式会社で、同社は当社の株式720株(議決権比率60.0%)を保有しています。

当社は親会社より主に水栓等の生産を委託され、これを納入しています。

②重要な子会社の状況

該当する子会社はありません。

(4)対処すべき課題

①人員増加に伴う施設・環境整備ならびに業務確保を推進していきます。

②従業員の定着支援、人材育成体制を強化していきます。

③JISを取得し、量産品取込みによる経営の安定化を図ります。

④ハートフルデーの開催や工場見学を通じて、地域社会や他企業への障がい者雇用訴求活動を推進していきます。